日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSJ PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN NEWS

2014年6月

NO. 253

TOPICS

「2014年度の日本PR協会の広報活動について」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会　副理事長　渡邉　幹夫
MESSAGE　P3

「広報PRアカデミー2014
「PRプランナー1次試験対応講座」を開講」
ATTENTION　P4

「第15回PRプランナー資格認定検定試験
7月18日まで1次試験受験予約受付中！」
ATTENTION　P5

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147
URL　http://www.prsj.or.jp/

関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　ファックス(06)6344-3005

発行人:近見　竹彦

6月号　目次

6月～7月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「2014年度の日本PR協会の広報活動について」	3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2014「PRプランナー1次試験対応講座」を開講」	4
〃	「第15回PRプランナー資格認定検定試験　7月18日まで1次試験受験予約受付中！」	5
BULLETIN(活動報告)	「第3回「通常総会」・「懇親パーティ」開催」	7
〃	「第14回PRプランナー資格認定検定試験　2次試験を5月18日に実施」	8
〃	「「PR Yearbook 2014」発刊　～PR この1年～」	10
〃	「第29回PRスキル研究会　クライアント企業の危機対応の実際」**（会員限定）**	12
VOICE of PR Planner	「総合力を磨く　ーもっと話したい広報担当を目指してー」	13
REPORT(講演レポート)	「第155回定例研究会　記者の目からみた企業不祥事・経営危機」**（会員限定）**	15
PR TREND(PRトレンド(関西)	「関西の風：関西国際空港開港20周年を迎えて」	16
協会掲載記事	「PRSJ in Media 6月」	18
PLAZA(会員便り)	「ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド㈱がPRWeek Global Awardsを受賞」	19
〃	「ワイワイカンパニー㈱「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」のご案内」	20

6月～7月スケジュール

第 3 回通常総会
日　時　：　6 月 4 日(水)　17:00～
会　場　：　グランドハイアット東京　2F「アニス」

第 3 回通常総会　懇親パーティ
日　時　：　6 月 4 日(水)　18:30～
会　場　：　グランドハイアット東京　2F「バジル」

広報PRアカデミー2014
「PRプランナー3 次試験対応講座」
日　時　：　6 月 5 日(木)、12 日(木)、19 日(木)、26 日(木)
　　7 月 2 日(水)、8 日(火)　いずれも 19:00～21:30
会　場　：　六 本 木 アカデミーヒルズ 49

【中部地区】危機管理広報講座＆
PRプランナー資格説明会
日　時　：　6 月 11 日(水)　16:00～
会　場　：　AP名古屋

なでしこカウンシル
日　時　：　6 月 13 日(金)　18:30～
会　場　：　読売新聞東京本社　12F個室
講　師　：　読売新聞東京本社　編集委員　永峰好美氏

2014 年度広報基礎講座
（関西部会）
日　時　：　6 月 18 日(水)、19 日(木)　いずれも 10:00～17:30
会　場　：　中央電気倶楽部

第 157 回定例研究会
日　時　：　6 月 19 日(木)　12:00～
会　場　：　六本木アカデミーヒルズ 49
講　師　：　日本経済新聞社　編集局　産業部　編集委員　大西康之氏
テーマ　：　「紙面刷新が指し示す日本経済新聞社の新展開
　　～デジタル時代の読者ニーズに応える新たな新聞作りを探る」

特別国際セミナー
日　時　：　6 月 20 日(金)　12:00～
会　場　：　日本記者クラブ
講　師　：　The Hoffman Agency CEO Lou Hoffman 氏
テーマ　：　「消えゆく境界線　～広報とデジタルマーケティング」

第 10 回PRプランナー交流会
日　時　：　6 月 28 日(土)　12:00～16:00
会　場　：　月島スペインクラブ

広報PRアカデミー2014
「PRプランナー1 次試験対応講座」
日　時　：　7 月 16 日(水)、23 日(水)、30 日(水)、8 月 6 日(水)
　　いずれも 19:00～21:00
会　場　：　六 本 木 アカデミーヒルズ 49

会員納涼懇親会
日　時　：　7 月 16 日(水)　18:30～
会　場　：　読売新聞東京本社　32F　ラウンジ

第 14 回PRプランナー資格認定
検定 3 次試験
日　時　：　7 月 26 日(土)　12:25～16:00
会　場　：　富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京)
　　富士通ラーニングメディア関西ラーニングセンター(大阪)

6月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（６月度）	日　時	：	６月 24 日(火)　12:00～14:00
	場　所	：	六本木ヒルズクラブ
教育委員会（６月度）	日　時	：	６月 17 日(火)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
資格委員会（６月度）	日　時	：	６月 26 日(木)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
交流委員会（６月度）	日　時	：	６月 25 日(水)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
広報委員会（６月度）	日　時	：	６月　２日(月)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
顕彰委員会（６月度）	日　時	：	未定
	場　所	：	協会会議室
企業部会幹事会（６月度）	日　時	：	６月　３日(火)　17:00～ 18:00
	場　所	：	協会会議室
ＰＲ業部会幹事会（６月度）	日　時	：	６月 19 日(木)　16:00～18:00
	場　所	：	協会会議室

2014 年度の日本ＰＲ協会の広報活動について

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
副理事長　渡邉　幹夫

私はこの６月４日の総会を経て引き続き副理事長に就任し、広報委員長を務める所存です。
会員の皆さまはもとより、社会に対しても公益社団法人として広報の普及啓発に努めたいと考えております。

皆さまもお感じのように、ＩＣＴの目ざましい進歩とソーシャルメディアの進展により、コミュニケーション環境は大きく変化し、広報・ＰＲのあり方も大きく変わっています。このような変化を背景に、日本の広報・ＰＲを牽引する当協会の発信力を高めるために、今年度は広報委員会を刷新し、以下を基本方針として活動を行います。

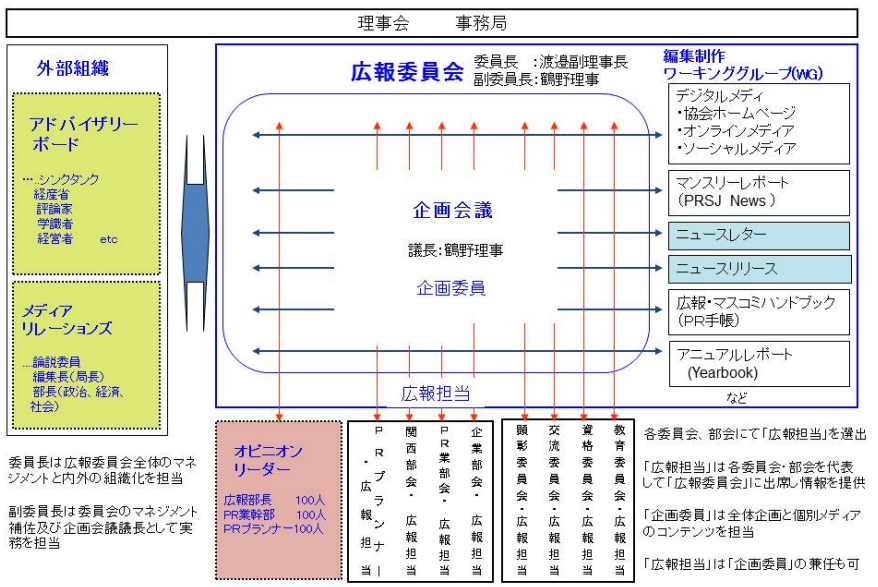
1. 情報発信の量的拡大（協会内外）
2. 鮮度の高い情報をタイムリーに発信（スピード）
3. フローの情報をＷｅｂ公開し、ストック情報は紙媒体で記録として残す（Ｗｅｂ １ｓｔ）
4. 「コンテンツを集める・発信する仕組み」作り（オピニオンリーダー）
5. 外部リレーションと公聴機能の構築（メディアリレーションズ、アドバイザリーボード）

運営体制は下図のように「広報委員会」と「企画会議」の構成とします。

1. 「広報委員会」は各委員会・部会にて選出いただいた「広報担当」で構成され、各委員会・部会の情報をもとに、年間広報計画を立案し、発信すべき情報を企画会議にインプットします。
2. 「企画会議」では各メディアのコンテンツを担当する「企画委員」が最適なメディアを使って協会内外にアウトプットします。
3. 必要に応じて実行組織として編集制作を行う「ワーキンググループ」を設置します。

情報をこのように縦横にを紡ぐことで上記方針を具体化したいと考えていますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員会運営体制



ATTENTION

広報PRアカデミー2014

「PRプランナー1 次試験対応講座」を開講

---7 月 16 日より泉ガーデンコンファレンスセンターにて---

教　育　委　員　会

来る 7 月 16 日より 8 月 6 日まで、当協会では「PRプランナー1 次試験対応講座（2014 年夏期）」を、4 回にわたり泉ガーデンコンファレンスセンターにて開講いたします。

本講座では、過去の試験で実際に出題された問題に取り組む模擬試験形式を採用し、1 次試験の形式や問題のレベル、時間配分を体得することができます。試験後は、問題と解答の解説が行われ、各分野における基本的な知識に関する理解を深めることができ、受験準備として最適です。

なお、講座では、インターネットを利用し自宅等からの受講を可能とする「Ｗｅｂ受講サービス」を提供します。本サービスにより地方等の遠隔地や自宅から講義の動画データのアーカイブをご自身の都合の良い時に視聴し学習することが可能です（アーカイブは 8 月 29 日まで視聴可能）。

講座の詳細と受講申込みは、6 月上旬より協会Ｗｅｂサイト「セミナー/イベントを探す」の「PRプランナー１次試験対応講座」のページにて行います。

http://event.prsj.or.jp/prp/1st-2014summer

■ＰＲプランナー認定１次試験対応講座の概要

日　程	講　座　内　容	講　師	受講料	申込締切
7 月 16 日（水） 19:00～21:30	・パブリックリレーションズの基本 ・企業経営とパブリックリレーションズ ・広報・PRマネジメント	（公社）日本パブリックリレーションズ協会　事務局次長 真部一善	**会場受講＋Web 受講** 一般 32,400 円 学生 19,440 円 PR協会会員 21,600 円 **Web 受講のみ** 一般 21,600 円 学生 19,440 円 PR協会会員 21,600 円	**会場受講＋Web 受講** 7 月 11 日（金）まで **Web 受講** 講座開始後でも受付けます。講座の受講はアーカイブの視聴のみとなります
7 月 23 日（水） 19:00～21:30	・コミュニケーションとPR ・メディアリレーションズ ・マーケティングとPR	APCO Worldwide シニア・ディレクター 永井　昌代　氏		
7 月 30 日（水） 19:00～21:30	・行政・団体の広報活動 ・国際広報 ・企業と危機管理 ・経営倫理とプロフェッショナリズム			
8 月 6 日（水） 19:00～21:30	・インベスターリレーションズ ・エンプロイーリレーションズ ・ネットPR	（公社）日本パブリックリレーションズ協会　事務局次長 真部一善		

日本ＰＲ協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

PRプランナー3 次試験対応講座　受講受付中！

「PRプランナー3 次試験対応講座」を 6 月 5 日より開講します。会場外から任意の時間に講座を視聴できるWeb受講は開講後も受付けます。受講ご希望の方は、下記ページをご参照ください。

（協会 Web サイト「セミナー/イベントを探す」の「PRプランナー3 次試験対応講座」ページ）

http://event.prsj.or.jp/prp/3rd_2014summer

第 15 回「PRプランナー資格認定検定試験」
7 月 18 日まで 1 次試験受験予約受付中！

資　格　委　員　会

第 15 回となるＰＲプランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：8 月 24 日(日)）を、東京・大阪、札幌、名古屋会場にて実施します。

日本ＰＲ協会が認定する「ＰＲプランナー資格認定制度」は、広報・ＰＲの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は 1 次から 3 次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・ＰＲに関する高い専門能力の保有を認定する「ＰＲプランナー」資格を取得することができます。本制度は 2007 年より発足しすでに 13 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 1,659 名のＰＲプランナーが一般企業、ＰＲ会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、7 月 18 日（金）までとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

＜ＰＲプランナー資格認定制度／検定第 1 次試験　実施概要＞

試　験　日	2014 年 8 月 24 日（日） 試験は東京・大阪・札幌・名古屋会場ともに 8 月 24 日（日）午前中に同時実施・終了する予定です。
募　集　定　員	東京：400 名・大阪会場：80 名・札幌会場：60 名・名古屋会場：60 名
受験応募・申込方法	資格制度Ｗｅｂサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2014 年 6 月 2 日（月）～7 月 18 日（金）
申込書送付期間	2014 年 6 月 3 日（火）～7 月 25 日（金）＜必着＞
受　験　票　送　付	2014 年 8 月 8 日（金）発送
合否通知送付	2014 年 9 月 5 日（金）発送 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、合否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2 次試験ならびにＰＲプランナー補認定申請のご案内を、メールでも 9 月 5 日（月）にお送りします。

＜試験時間＞

０９　時　３０　分	各試験会場に入館できます
１０　時　２０　分	指定の教室・座席にご着席ください
１０　時　２５　分	注意事項伝達・試験問題配布
１０　時　４０　分	試験開始
１２　時　００　分	試験終了

※資格検定試験の詳細は、以下ＵＲＬの協会ＰＲプランナー資格 Web サイトをご覧ください。

http://pr-shikaku.prsj.or.jp/

受験会場

第 15 回ＰＲプランナー資格認定検定試験(1 次試験)の験会場は、東京・大阪・札幌・名古屋の下記会場となります。試験開始時刻の「20 分前」までにお越しになり、指定の座席にご着席ください。

東京会場：青山学院大学 青山キャンパス
渋谷区渋谷４－４－２５

・ＪＲ山手線・埼京線、東急東横線・田園都市線、京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線「渋谷駅」徒歩 10 分
・東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩 5 分

大阪会場：毎日インテシオ
大阪市北区梅田３－４－５

・ＪＲ大阪駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約 15 分
・阪急、阪神、地下鉄各駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約 15 分。

名古屋会場：ＡＰ名古屋
名古屋市中村区名駅４－１０－２５

・「名古屋駅」徒歩約 5 分

札幌会場：北海道建設会館
札幌市中央区北４条西３－１

・ＪＲ札幌駅南口より徒歩 3 分
・地下鉄さっぽろ駅 12 番出口（西武）13 番出口（東急）より徒歩 3 分
・ＪＲバス、中央バス 駅前ターミナルより徒歩 1 分

第 3 回「通常総会」・「懇親パーティ」開催

第 3 回通常総会が、6 月 4 日(水)午後 5 時から、東京都港区六本木のグランドハイアット東京　2F「アニス」において開催されました。

平成 25 年度 3 月末の議決権数は法人正会員 235 名、個人正会員Ａ140 名、個人正会員Ｂ27 名、計 402 名で、定刻出席者 55 名、議決権行使書提出者 214 名、合計 269 名。定足数の 202 名を超え、総会は成立しました。また、4 号議案の定款一部変更の件も正会員総数の 3 分の 2 の議決（269 名）を得ましたので、成立しました。

最終的に総会参加者は 71 名でした。

総会では、次の 4 つの議案の審議と 2 つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。

【議案審議】
- 第 1 号議案　平成 25 年度事業報告
- 第 2 号議案　平成 25 年度収支決算報告並びに監査報告
- 第 3 号議案　新役員選任
- 第 4 号議案　定款一部変更

【報告事項】
- 第 1 号報告　平成 26 年度事業計画
- 第 2 号報告　平成 26 年度収支予算

午後 6 時 30 分から、同階「バジル」において懇親パーティが行われ、こちらも 158 名（招待者含む）の参加者を迎え、大変な盛況でした。

パーティ席上では、新執行部紹介、新理事長挨拶、新任理事の紹介、退任役員（理事・監事）への記念品贈呈などのセレモニーが行われ、盛況の内に閉会しました。

第 14 回PRプランナー資格認定検定試験
2 次試験を 5 月 18 日に実施
東京・大阪・福岡で、208 名の受験者が挑戦！

資　格　委　員　会

5 月 18 日（日）、第 14 回ＰＲプランナー資格検定 2 次試験が東京（学習院大学）、大阪（毎日インテシオ）、福岡（ＡＱＵＡ博多）で行われました。今回の 2 次試験では、東京会場：192 名、大阪会場：31 名、福岡：10 名の合計 233 名が受験申込をされ、当日は 208 名（東京会場：170 名、大阪会場：29 名、福岡：9 名）の受験者が受験し、そのうち 147 名（東京会場：122 名、大阪会場：17 名、福岡：8 名）が合格されました。

今回も無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の 2 次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

＜　第 14 回　科目別　正答率 65％以上　＞

科目Ａ：ＣＳＲ、ＩＲ、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識
受験者 208 名、正答率 65％以上 171 名、達成率 82.2％

科目Ｂ：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識
受験者 208 名、正答率 65％以上 190 名、達成率 91.3％

科目Ｃ：広報・ＰＲ実務に関する知識
受験者 208 名、正答率 65％以上 191 名、達成率 91.8％

科目Ｄ：時事知識
受験者 208 名、正答率 65％以上 147 名、達成率 70.7％

＜　第 14 回　2 次試験合格率＞

受験者 208 名、合格者 147 名、合格率 70.7％

※上記「科目別　正答率 65％以上」の人数は、2 次試験合格基準となる「全出題数に対して正答率 65％以上、かつ各科目の正答率がいずれも 50％以上で合格」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。

＜学習院大学　西5号館＞

＜AQUA博多＞

■第 14 回２次試験(2014 年 5 月 18 日)　合格率・受験者プロフィール

		PR業/PR関連業	一般企業(広報PR関連)	一般企業(その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	34 名	38 名	16 名	2 名	0 名	4 名	5 名	5 名	104 名
	合格者	24 名	30 名	12 名	2 名	0 名	4 名	4 名	4 名	80 名
女性	受験者	26 名	40 名	10 名	3 名	1 名	2 名	5 名	17 名	104 名
	合格者	14 名	28 名	7 名	2 名	1 名	1 名	1 名	13 名	67 名
全体	受験者(全体比)	60 名(28.8%)	78 名(37.5%)	26 名(12.5%)	5 名(2.4%)	1 名(0.5%)	6 名(2.9%)	10 名(4.8%)	22 名(10.6%)	208 名(100.0%)
	合格者(全体比)	38 名(25.9%)	58 名(39.5%)	19 名(12.9%)	4 名(2.7%)	1 名(0.7%)	5 名(3.4%)	5 名(3.4%)	17 名(11.6)	147 名(100.0%)
	合格率	**63.3%**	**74.4**	**73.1%**	**80.0%**	**100.0%**	**83.3%**	**50.0%**	**77.3%**	**70.7%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	21 名	49 名	34 名	104 名
	合格者	14 名	40 名	26 名	80 名
女性	受験者	34 名	48 名	22 名	104 名
	合格者	17 名	34 名	16 名	67 名
全体	受験者(全体比)	55 名(26.4%)	97 名(46.6%)	56 名(26.9%)	208 名(100.0%)
	合格者(全体比)	31 名(21.1%)	74 名(50.3%)	42 名(28.6%)	147 名(100.0%)
	合格率	**56.4%**	**76.3%**	**75.0%**	**70.7%**

受験者	合格者	合格率
208 名	147 名	**70.7%**

■　２次試験累計(第１回～第 14 回)　合格率・受験者プロフィール

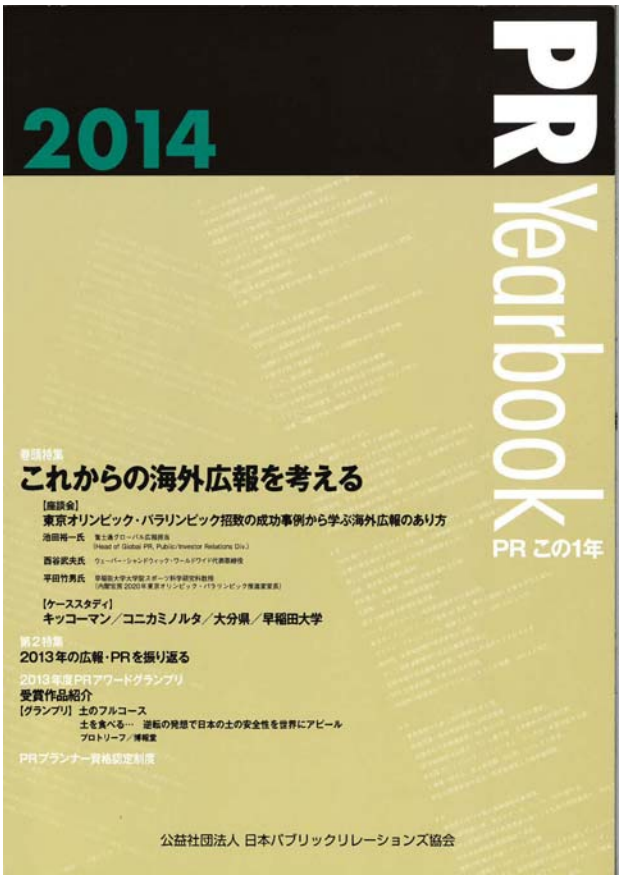
		PR業/PR関連業	一般企業(広報PR関連)	一般企業(その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	550 名	594 名	177 名	27 名	43 名	42 名	82 名	101 名	1616 名
	合格者	445 名	496 名	135 名	21 名	35 名	36 名	47 名	81 名	1296 名
女性	受験者	388 名	619 名	137 名	28 名	34 名	28 名	88 名	117 名	1439 名
	合格者	273 名	437 名	94 名	18 名	27 名	24 名	51 名	73 名	997 名
全体	受験者(全体比)	938 名(30.7%)	1213 名(39.7%)	314 名(10.3%)	55 名(1.8%)	77 名(2.5%)	70 名(2.3%)	170 名(5.6%)	218 名(7.1%)	3055 名(100.0%)
	合格者(全体比)	718 名(31.3%)	933 名(40.7%)	229 名(10.0%)	39 名(1.7%)	62 名(2.7%)	60 名(2.6%)	98 名(4.3%)	154 名(6.7%)	2293 名(100.0%)
	合格率	**76.5%**	**76.9%**	**72.9%**	**70.9%**	**80.5%**	**85.7%**	**57.6%**	**70.6%**	**75.1%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	432 名	719 名	465 名	1616 名
	合格者	312 名	588 名	396 名	1296 名
女性	受験者	554 名	647 名	238 名	1439 名
	合格者	358 名	467 名	172 名	997 名
全体	受験者(全体比)	986 名(32.3%)	1366 名(44.7%)	703 名(23.0%)	3055 名(100.0%)
	合格者(全体比)	670 名(29.2%)	1055 名(46.0%)	586 名(24.8%)	2293 名(100.0%)
	合格率	**68.0%**	**77.2%**	**80.8%**	**75.1%**

受験者	合格者	合格率
3055 名	2293 名	**75.1%**

「PR Yearbook 2014」発刊
～PR この1年～

広　報　委　員　会



今年も1年間の国内外のパブリックリレーションズの動きを網羅した「ＰＲ Yearbook 2014」を発刊いたしました。本誌は、2013年の広報･ＰＲに関する動向や注目のトピックスを取り上げ、独自の視点で1年を振り返る年鑑で、今号で6号目になります。

●グローバル広報に向けて

この1年、2013年には広報・ＰＲの世界において何が印象的だったのか。またその意味は何だったのか…。毎年発行している「ＰＲ Yearbook」が発行の運びとなりました。

もう遠い昔のように感じられるかもしれませんが、オリンピック・パラリンピックの東京招致が決まったのも昨年のこと。今号ではこの招致成功を単なるお祝い事ではなく、グローバルな視点で広報に取組まなくてはいけなくなっている日本企業の広報担当の皆さまの参考にしていただくべく、巻頭特集「これからの海外広報を考える」を組みました。

座談会では「東京オリンピック・パラリンピック招致の成功事例から海外広報のあり方」と題し、海外広報に造詣の深い西谷武夫氏、最前線でご活躍の池田祐一氏、そして内閣官房で2020年東京オリンピック・パラリンピック推進にご活躍の平田竹男氏にご登場いただき、招致成功の分析から今現在海外に発信しなければいけない企業広報に参考になるような貴重なご意見を賜りました。

また、ケーススタディはアメリカ進出を皮切りに世界中に醤油文化を輸出したキッコーマン、世界144カ国で事業展開するコニカミノルタ、県の特長を余さず利用し海外に打って出ている大分県、世界のＷＡＳＥＤＡへと雄飛しようとする早稲田大学の4事例を紹介しています。

●土を食べる！？ユニークな「土のフルコース」が「PRアワードグランプリ」をグランプリ獲得

昨年に比べエントリー数も質も格段に上がった「ＰＲアワードグランプリ」はグランプリ受賞の「土のフルコース」を始め10事例を紹介、事例研究のみならず特別審査員、部門審査委員長のコメントも広報・ＰＲに携わる方ならきっと参考になることと確信しております。2013年度日本ＰＲ大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーではパラリンピアンの佐藤真海氏が、2013年度日本ＰＲ大賞シチズン・オブ・ザ・イヤーでは「本屋大賞」を運営する高頭佐和子氏が受賞、パワーのあるメッセージを収録しています。

●新たな展開に向けて

さらに、明日のＰＲを担うＰＲプランナーの皆さまの忌憚のないご意見も掲載。彼らの広報に向ける情熱もご理解いただけると同時に、今後ＰＲ協会が切り開いていかなければいけないテーマも見えてきました。

広報実務に携わる方に、必ずお役に立てる１冊として自信を持ってお薦めいたします。

社内回覧はもちろんのこと、お得意さまへのご参考や社内教育用にも、大いに活用いただきますようお願い申し上げます。特に、ケーススタディでとりあげた自治体や大学の広報関係者にご案内いただければ幸いです。

なお、今年度は紙媒体とＷｅｂ媒体での情報発信を総合的に見直す予定です。

- 名　称　：「ＰＲ Yearbook　2014」
- 発行元　：公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会
- 発行部数：1,200 部
- 発行日　：2014 年 6 月 2 日(月)
- 体　裁　：A4 判／86 頁／平綴じ／表紙関係 4 色、本文 2 色
- 頒　価　：1,000 円
- 購入方法：協会事務局で販売

ご購入ご希望の方は、協会事務局（TEL：03-5413-6760）までご連絡ください。

会 員 限 定

第 29 回PRスキル研究会
クライアント企業の危機対応の実際
～PR会社の担当者としての準備と心構え～

ＰＲ業部会

ＰＲ業部会では、広報ＰＲ業務のスキル向上を目指した研修・意見交換の場として「ＰＲスキル研究会」を開催しています。

第 29 回ＰＲスキル研究会は、2014 年 4 月 21 日（月）、㈱内外切抜通信社 地下ホールにおいて「クライアント企業の危機対応の実際」をテーマに開催されました。
危機管理広報に詳しい㈱エイレックス アカウントマネージャー　畑山　純氏を講師にお迎えし、ますますニーズの高まっている同領域について、マニュアル作成、メディアトレーニングから実際のクライシス広報対応まで幅広くお話しをいただきました。

参加者は 39 名でした。

総合力を磨く
― もっと話したい広報担当を目指して ―

川崎重工業株式会社
坂本　友紀

（はじめに）
川崎重工業株式会社の広報部に所属しております、坂本友紀と申します。ＰＲプランナー同期生である、日立化成株式会社の磯田さんよりバトンを受けました。ＰＲプランナー資格の取得は、私の広報人生にとって、とても大きなキャリアアップに繋がったと考えています。

（広報でのキャリアと受験のきっかけ）
入社２年目で広報部に異動となり、それ以後は今日に至るまでの６年間、新聞、テレビ、雑誌等のマスコミ対応一筋でキャリアを積んできました。異動直後は、自分自身も会社の事業内容や特性を十分に知らない中で、それらの詳細をマスコミから問われる立場となり、緊張感と勉強の毎日でした（緊張感と勉強は、異動直後だけでなく現在もずっと継続しています、たぶん）。マスコミの方達の興味・関心や生活形態は、自分達のような一般の会社員とは異なる部分も多く、日々のやり取りがとても新鮮で刺激的に感じられました。情報発信には正確さと迅速さが常に求められ、自分なりに毎日悪戦苦闘しながらも精一杯取り組んでいました。広報歴が４年に達する頃、スキルアップを目指す中で、行き詰まりを感じるようになりました。実務経験が増えて、以前よりも業務が速く正確に出来るようになったものの、何か足りない気がする。自分に必要なものが何か明確にわからず悩む中で、ＰＲプランナーの存在を見つけ、新しい世界を見られるような気がして、受験を決めました。

（現在の業務内容）
新聞、テレビ、雑誌等のマスコミを通じた社外向けの企業ＰＲを担当しています。具体的には、プレスリリースの発信、取材対応等のアクションが中心となります。弊社の事業領域は、船舶、鉄道車両、航空機、二輪車、発電設備、産業用プラント等と、非常に幅広いものです。日々の業務では、個々の事業の内容や特性をアピールすることはもちろんですが、それと並行して企業全体を俯瞰する視点を持ってＰＲの手法を考える必要があり、とても難しく感じています。
ＰＲプランナー取得後は、プレスリリースや取材対応等の通常業務に加えて、セクション全体での業務効率化のため、データベースの改訂作業を提案し取り組むなど、業務の幅を自分で広げることができるようになりました。また、海外の生産拠点での取材も担当するなど、実務経験のバラエティも増えています。

（ＰＲプランナー取得を通じて得たもの）
マスコミを通じた社外ＰＲの意義・効果を体系的に学び、それらを伝える力を得たことが一番の成果だと考えています。ＰＲプランナー取得までには３度も試験があり、本当に長く苦しい戦いだと感じていました。一次・二次試験はＰＲ概論、三次の実技試験はＰＲプラン作成が課題でしたが、試験対策を通して、それらを今まで自分が積み上げてきた実務経験と照らし合わせて考えるようになったことで、自分のアイディアの厚みが増したことを実感しています。

社外ＰＲを行う上で、社内調整も非常に重要かつ難しいポイントですが、企業にとっての社外ＰＲの効果をしっかりと伝えることで、以前よりも社内の合意を得やすくなったと感じています。また、ＰＲ案件が一つ成功すると、社内のＰＲに対する関心や期待も高まり、意見交換が活発になるため、自分の所に入ってくる情報量も以前より増えました。

ＰＲ業務を客観的な視点で捉えることは、マスコミ目線で物事を見るスキルを身につけることでもあります。情報発信の仕方を工夫するだけでなく、マスコミの方達との日々の会話が盛り上がるようになったことから、企画の話をいただくチャンスも増えたと感じています。

社内からも社外からも、「もっと話したい広報担当」と思ってもらうことが、質の高いＰＲを行う上でとても重要だということに気づきました。そして、もっと話したい広報担当になるために必要なのは、実務経験とそれらを体系的に捉える視点が合わさった「総合力」だということを実感しています。

さて、次は、広報だけでなくお酒にも精通した広報マネージャーである、アイ・エム・エス・ジャパン株式会社の山口さんにバトンを渡します。ソフトにちょいワルな広報マネージャーの体験記をお楽しみに！

会 員 限 定

第155回定例研究会

記者の目から見た企業不祥事・経営危機
～企業の社会的責任とは？～

講師：共同通信社 編集委員・論説委員
渡部道雄氏

第 155 回（3 月度）は 3 月 25 日（火）に日本外国特派員協会で開催しました。
講師は、㈱共同通信社 編集委員 渡部道雄氏。テーマは「記者の目から見た企業不祥事・経営危機 ～企業の社会的責任とは～」。
参加者は 58 名でした。

＜コラム　関西の風＞

関西国際空港開港 20 周年を迎えて

南海電気鉄道株式会社
総務部課長(広報担当)
新階　寛仁

本年、関西国際空港が開港し 20 周年を迎えます。関西国際空港の開港に先立ち開業した南海電気鉄道株式会社（南海電鉄）の空港線（泉佐野駅～関西空港駅）も 6 月 15 日に開業 20 周年を迎えます。今回の関西の風は、関西国際空港開港と空港線開業 20 周年を記念したイベントについてご紹介します。

特急ラピート(50000 系)

特急ラピート(50000 系)車内

1. 赤い彗星の再来　特急ラピート　ネオ・ジオンバージョンの運行

南海電鉄では、関西国際空港開業（平成 6 年 9 月 4 日）とともに大阪ミナミのターミナル難波駅と関西国際空港を結ぶ「特急ラピート」の運行を開始しました。ラピートの車体は、ダイナミックスと力強さを兼ね備えた先頭形状と、海上空港をイメージした濃いブルーの塗色が特徴であり、航空機の流線形と蒸気機関車が持つ力強さのイメージを融合させたデザインとなっています。運行開始から、そのユニークなデザインが好評を得ており、平成 7 年には鉄道友の会から「ブルーリボン賞」をいただきました。

赤い彗星の再来　特急ラピート　ネオ･ジオンバージョン
© 創通・サンライズ

運行開始 20 周年を迎えるにあたり、「ラピートに注目をしてもらうにはどうしたらいいか？」という検討のなかで、「車体の塗色を変えてはどうか」という意見から話が膨らみ、人気アニメ「機動戦士ガンダム」シリーズ作品『機動戦士ガンダムＵＣ episode 7「虹の彼方に」』とのタイアップが決定。ラピート 1 編成の車両外観を登場人物であり“シャアの再来”と呼ばれるフル・フロンタル率いる組織「ネオ・ジオン」をイメージした赤色に変更するとともに、車内に登場人物の専用席を 3 席設置しています。

赤い彗星の再来　特急ラピート　ネオ･ジオンバージョン（車内･専用席）　© 創通・サンライズ

この「機動戦士ガンダムＵＣ×特急ラピート 赤い彗星の再来 特急ラピート ネオ・ジオンバージョン」は、今年 4 月 26 日（土）から 6 月 30 日（月）まで運行し、日頃ラピートをご利用いただいているお客さまをはじめ、全国の鉄道ファンやガンダム・ファンに、特急ラピートの新たな可能性とデザインをアピールしています。

疾走する赤い彗星の再来　特急ラピート　ネオ･ジオンバージョン　© 創通・サンライズ

2. ラピートから始まる二人の門出

～Wedding Express Rapi:t bound for Hotel Nikko Kansai Airport～

南海電鉄では、ホテル日航関西空港（高橋信行総支配人）と新関西国際空港㈱（安藤圭一ＣＥＯ）との共同企画として、ラピート車内での結婚式「特急ラピート運行開始×関西国際空港開港 20 周年記念　ラピートから始まる二人の門出　Wedding Express Rapi:t bound for Hotel Nikko Kansai Airport」を挙行します。

この企画では今秋の 9 月 21 日（日）、10 月 11 日（土）の各日 1 組のカップルに、特急ラピートの 1 号車（先頭車両）を貸し切っての挙式と、関西空港駅到着後に空港最高位のレストランスカイグリル「ジェットストリーム」（同ホテル内）で披露宴をしていただきます。

レストランスカイグリル「ジェットストリーム」（ホテル日航関西空港内）

車内での結婚式は、南海電鉄では初めての企画であり、一生に一度の記念すべき日を、アニバーサリーイヤーを迎えた関西国際空港と特急ラピートが盛り上げることになります。

政府の積極的なインバウンドへの取組みやＬＣＣの就航により、関西では関西国際空港を利用しての訪日外国人旅客が増えています。また、グランフロント大阪やあべのハルカスの開業といった最近の話題に加え、南海電鉄の沿線でも高野山を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて今年 10 周年を迎え、来年はその高野山が「開創 1200 年」の記念すべき年を迎えます。関西国際空港開港と特急ラピート運行開始 20 周年を記念したイベントも、引き続き企画していく予定となっています。

是非、皆さんも「関西の風」を感じに、関西にお越しください。

PRSJ in Media

● 5月1日（日） 『月刊広報会議』6月号

『月刊広報会議』6月号における当協会の連載コラムに、企業部会が実施した「第15回広報ゼミ」の内容が掲載されました。

「広報ゼミ」では、「危機管理広報」をテーマにとして、事前アンケートと広報コンサルタントの五十嵐　寛氏によるトレーニングが行われました。
事前アンケートではメディアトレーニングの実施状況やその必要性、対象などが調査され、多くの企業では危機発生時の役割分担が決まっていないことなどが明らかとなり、危機管理の課題が浮き彫りとなりました。

また、トップの認識、広報部門と経営の意思疎通や連携、危機管理体制の平時からの整備の必要性など危機管理における重要事項についてトレーニングを通じて共有するとともに、危機に対する基本的な対応として「逃げない、隠れない」「迅速な対応」など「マスコミ対応５か条」の重要性を認識、広報部門の役割をあらためて確認する有意義なトレーニングとなったことが紹介されています。

編集担当より

会員のみなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

■ 会員便り

当協会法人正会員のウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社が PRWeek Global Awards を受賞！

―東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致活動の国際広報活動で―

グローバル・ＰＲエージェンシーであるウェーバー・シャンドウィックは、5 月 15 日（スペイン現地時間）、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致活動の国際広報活動で、PRWeek Global Awards（Public Sector 部門）を受賞しました。国際 PR メディアの PRWeek が主催する本アワードは、世界複数市場にわたる最も優れたコミュニケーション活動を表彰するものです。

当社は、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会から、コミュニケーション戦略のグローバル・ＰＲエージェンシーに指名され、東京 2020 の国際広報活動を支援してきました。前回の 2016 年オリンピック・パラリンピック招致時にも、同様に国際広報活動を受託しており、招致委員会と緊密な連携を続けてきました。

今回の招致活動では、東京は過去の経験を活かした綿密かつ強力な計画を練り上げ、「オール・ジャパン」体制のもと、この素晴らしい成果を導くことに成功しました。

6 年後に開催される 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの成功を心より願っております。

当社の西谷武夫会長は、「東京の招致の成功は、招致に関わったすべての人々の情熱と、オリンピック・パラリンピックに期待するすべての日本国民の願いが一つになって、選ばれたのだと思います。ウェーバー・シャンドウィックでは、東京オフィスを中心に、パリ、ロンドン、モスクワ、ブエノスアイレスなど、海外ネットワークとの連携で、この戦略広報活動をご支援できたことを大変光栄に思います。東京が 2020 年にオリンピック・パラリンピックをホストすることは、日本の様々な分野に好影響が出てくると思います。当社でも、日本全体の活性化に少しでも貢献できればと思います」と述べています。

ロンドンチームの James Hillier（写真左）とパリチームの Svetlana Picou（写真中央）

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社
担当：　楠／尾脇
電話：　03-5427-7348
E-mail:　mkusunoki@webershandwick.com
　　towaki@webershandwick.com
Website：　http://webershandwick.jp/　http://www.webershandwick.com
　　http://www.webershandwick.asia

■ 会員便り

当協会法人正会員のワイワイカンパニー㈱ 山田百合子氏から“子供たちの未来を応援する”「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」のご案内をいただきましたので、皆様にご紹介いたします。

こんにちは。
ワイワイカンパニー 山田百合子です。

昨年は「ＮＰＯ法人 夢のかけ橋プロジェクト」稲盛和夫著書「君の思いは必ず実現する」読書感想文コンクールそしてチャリティイベントへのご協力有難うございました！

子供たちの輝く未来を応援する「夢のかけ橋プロジェクト」。11 年目を迎えた今年の夏の体験ツアーは子供たちにレースの興奮や感動を味わってもらいたいと「富士スピードウェイ ＳＵＰＥＲ ＧＴ観戦 2 泊 3 日の旅（8 月 9 日（土)～11 日（月））」を企画しました。

夏の体験ツアー2006 にて、TOM’S ピットで
フォーミュラ・カー見学

夏の体験ツアー2006 にて、富士スピードウェイのメインゲートの前で記念撮影

「車が大好き！」な思いを寄せてくれた子供たちの中から、関東近辺や福島の児童養護施設より 5 名、関東近辺や静岡より 5 名、計 10 名を無料でご招待致します♪

今回の体験ツアーを通じて一人でも多くの子供たちに日頃体験できない生の興奮、ワクワクドキドキを感じて、車の魅力を知り、
〞夢を持つこと〞を考えるきっかけにしてもらえたらと思っています。

是非、ご家族・ご親戚や会社の皆様方にもご周知下さいませ（^_^）
一人でも多くの子供たちのご応募をお待ちしています！

【募集要項】

■締め切り：2014 年 6 月 15 日（日曜日）当日消印有効（メールは同日 24:00 受信分まで）
■募集対象：関東近辺、静岡県に住んでいる中学生～高校生
※集合場所（東京駅か御殿場駅）まで来ることが出来る方
■テーマ：『あなたの「車が大好きな思い」について』

■応募規定：400 文字（原稿用紙 1 枚）以内、メールもしくは郵送にてお送り下さい。
※氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、年齢、性別、学校名、学年を明記
■応募先　【郵送の場合】〒107－0062 東京都港区南青山 6-4-5 プチ南青山
ワイワイカンパニー株式会社内
「ＮＰＯ法人　夢のかけ橋プロジェクト」夏の体験ツアー係
【電子メールの場合】Mail：info@yumenokakehashi.net
※原稿用紙をデータ（pdf・画像）化し、メール添付も可
■発表　2014 年 6 月 30 日（月曜日）
※入賞者には「ＮＰＯ法人 夢のかけ橋プロジェクト」より直接ご連絡します。

■2014 年夏の体験ツアー詳細
http://www.yumenokakehashi.net/event/2014/05/20140519.html

子供たちの夢を応援すること＝私たち、大人も夢を見る……
このイベントにご協力いただいているすべての皆様に、愛と感謝をこめて……

「ＮＰＯ法人　夢のかけ橋プロジェクト」
企画・プロデューサー
代表理事　山田百合子

【お問い合せ】
ワイワイカンパニー㈱内　「ＮＰＯ法人　夢のかけ橋プロジェクト」
担当：高橋、亀井、角谷

〒107-0062 東京都港区南青山 6-4-5 プチ南青山
TEL：03-3486-2744 FAX：03-3486-0626
Mail：info@yumenokakehashi.net
Web：http://www.yumenokakehashi.net/

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載